



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 株式会社 東京精密

上場取引所 東

コード番号 7729 URL <http://www.accretech.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 吉田 均

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 CFO (氏名) 川村 浩一

TEL 042-642-1701

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

平成30年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 証券アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	51,194	17.2	10,250	15.0	10,765	19.1	7,892	24.2
30年3月期第2四半期	43,663	17.4	8,914	35.3	9,041	42.6	6,355	36.2

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 6,925百万円 (2.7%) 30年3月期第2四半期 7,115百万円 (79.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	189.96	188.49
30年3月期第2四半期	153.21	152.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	140,868	104,347	73.3
30年3月期	132,893	99,354	74.0

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 103,195百万円 30年3月期 98,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		41.00		51.00	92.00
31年3月期		59.00			
31年3月期(予想)				59.00	118.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

31年3月期第2四半期末と同期末配当金(予想)につきましては、それぞれ創業70周年記念配当10円(年間20円)を含んでおります。本件につきましては本日、別途開示しております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	13.4	18,700	8.2	18,900	9.1	13,600	6.9	327.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	41,595,881 株	30年3月期	41,575,881 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	36,524 株	30年3月期	36,251 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	41,549,492 株	30年3月期2Q	41,483,365 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は日本や米国では堅調な個人消費や設備投資を背景に安定した回復基調が続きましたが、欧州では個人消費伸び悩みなどで景気拡大ペースが鈍化、中国では堅調な輸出を背景に底堅く推移しているものの持ち直しの動きには足踏みが見られました。そうした中で米中間の貿易摩擦問題の拡大やブレグジットの交渉難航など下振れに繋がるリスクが存在する状況が続いています。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、受注高571億80百万円（前年同期比29.6%増）、売上高511億94百万円（前年同期比17.2%増）、営業利益102億50百万円（前年同期比15.0%増）、経常利益107億65百万円（前年同期比19.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は78億92百万円（前年同期比24.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下の通りです。

【半導体製造装置部門】

半導体製造装置部門ではデータ大容量化やストレージ需要の拡大に伴うメモリ関連の投資、スマートフォン高機能化やIoT、AI 進展に伴うディスプレイドライバ向けの投資、および電子部品・センサ向けの投資などが堅調に推移し当社装置の受注は堅調に推移、一部部材の納入遅延についても一定の改善が見られ出荷が進んだ結果、第 2 四半期連結累計期間の受注高、売上高及び営業利益は前年同期と比べ増加しました。

当部門における当第2四半期連結累計期間の受注高は397億00百万円(前年同期比35.7%増)、売上高は358億18百万円(前年同期比18.0%増)、営業利益は68億45百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

【計測機器部門】

計測機器部門では、主要ユーザーである自動車関連業界が引き続き内外での生産効率向上に向けた生産革新のための新規設備投資を積極的に進めました。これに連動した工作機械需要も内外ともに堅調であるほか、航空機向け需要も堅調さを維持しました。こうした環境を背景に、当社装置の受注高、売上高及び営業利益は前年同期と比べ増加しました。

当部門における当第2四半期連結累計期間の受注高は174億80百万円(前年同期比17.6%増)、売上高は153億75百万円(前年同期比15.5%増)、営業利益は34億5百万円(前年同期比33.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ79億75百万円増加し、1,408億68百万円となりました。増減の主な要因は、現金及び預金の増加37億28百万円、仕掛品、原材料など棚卸資産の増加22億80百万円、受取手形及び売掛金、電子記録債権の増加11億15百万円等であります。

当第2四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べ29億82百万円増加し、365億21百万円となりました。増減の主な要因は、支払手形及び買掛金、電子記録債務の増加37億円、未払法人税等の減少4億26百万円であります。

当第2四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べ49億92百万円増加し、1,043億47百万円となりました。この結果、自己資本比率は73.3%になりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ37億27百万円増加し、408億17百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、88億円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益107億68百万円、仕入債務の増加35億29百万円、棚卸資産の増加26億39百万円、減価償却費12億59百万円、売上債権の増加9億68百万円、法人税等の支払額32億94百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、30億18百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出20億24百万円、無形固定資産の取得による支出8億94百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、20億91百万円の支出となりました。これは主に配当金の支払額21億18百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

足許の状況を踏まえ、平成30年8月10日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	98,000	17,500	17,500	12,800	308.00
今回修正予想	100,000	18,700	18,900	13,600	327.00
増減率(%)	2.0%	6.9%	8.0%	6.3%	—

(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、内外の経済状況、為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。これらは、市況、競争状況、新製品の導入及びその成否を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益は、記載されている予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,220	40,949
受取手形及び売掛金	28,005	28,243
電子記録債権	5,434	6,312
商品及び製品	1,918	1,924
仕掛品	15,223	16,983
原材料及び貯蔵品	5,183	5,698
その他	2,146	1,416
貸倒引当金	△ 142	△ 68
流動資産合計	94,990	101,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,998	13,651
その他(純額)	10,259	11,268
有形固定資産合計	24,258	24,919
無形固定資産		
のれん	185	132
その他	1,671	2,717
無形固定資産合計	1,857	2,849
投資その他の資産		
その他	11,787	11,641
貸倒引当金	△ 0	△ 0
投資その他の資産合計	11,787	11,641
固定資産合計	37,902	39,410
資産合計	132,893	140,868

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,200	9,207
電子記録債務	13,670	16,363
短期借入金	1,300	1,300
未払法人税等	3,254	2,827
引当金	1,248	1,223
その他	5,133	4,951
流動負債合計	32,807	35,873
固定負債		
役員退職慰労引当金	139	38
退職給付に係る負債	542	523
その他	49	87
固定負債合計	731	648
負債合計	33,538	36,521
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,561	10,587
資本剰余金	21,579	21,605
利益剰余金	62,105	67,880
自己株式	△ 118	△ 119
株主資本合計	94,128	99,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,564	927
為替換算調整勘定	811	607
退職給付に係る調整累計額	1,858	1,704
その他の包括利益累計額合計	4,234	3,240
新株予約権	623	757
非支配株主持分	368	395
純資産合計	99,354	104,347
負債純資産合計	132,893	140,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	43,663	51,194
売上原価	26,367	30,860
売上総利益	17,295	20,333
販売費及び一般管理費	8,380	10,083
営業利益	8,914	10,250
営業外収益		
受取利息	10	14
受取配当金	29	61
為替差益	54	351
その他	52	111
営業外収益合計	147	538
営業外費用		
支払利息	9	14
その他	11	8
営業外費用合計	21	23
経常利益	9,041	10,765
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	9,037	10,768
法人税、住民税及び事業税	2,869	2,864
法人税等調整額	△ 206	△ 17
法人税等合計	2,662	2,847
四半期純利益	6,374	7,921
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,355	7,892

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	6,374	7,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	504	△ 636
為替換算調整勘定	280	△ 205
退職給付に係る調整額	△ 43	△ 153
その他の包括利益合計	741	△ 996
四半期包括利益	7,115	6,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,097	6,898
非支配株主に係る四半期包括利益	18	26

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,037	10,768
減価償却費	1,228	1,259
のれん償却額	51	51
株式報酬費用	157	147
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19	△36
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△16	△101
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20	△74
受取利息及び受取配当金	△40	△75
支払利息	9	14
売上債権の増減額(△は増加)	△2,588	△968
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,727	△2,639
仕入債務の増減額(△は減少)	3,848	3,529
その他	851	159
小計	10,813	12,033
利息及び配当金の受取額	40	75
利息の支払額	△9	△14
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,999	△3,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,844	8,800
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11	△113
定期預金の払戻による収入	11	114
有形固定資産の取得による支出	△1,105	△2,024
有形固定資産の売却による収入	2	7
無形固定資産の取得による支出	△349	△894
投資有価証券の取得による支出	△1,523	△98
子会社出資金の取得による支出	△19	△10
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	107	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,890	△3,018
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△4	△14
ストックオプションの行使による収入	62	41
配当金の支払額	△1,575	△2,118
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,518	△2,091
現金及び現金同等物に係る換算差額	109	37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,544	3,727
現金及び現金同等物の期首残高	33,825	37,090
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,370	40,817

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	30,345	13,317	43,663	43,663
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	30,345	13,317	43,663	43,663
セグメント利益	6,358	2,556	8,914	8,914

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	35,818	15,375	51,194	51,194
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	35,818	15,375	51,194	51,194
セグメント利益	6,845	3,405	10,250	10,250

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。